

ふれあい

vol. 47
2019年7月



- 特集 新病院での診察がスタートしました！
- 健康コラム 肩車型社会はニッポン 1 億総活躍プランで乗り切れるか
- 新任紹介
- 定番おかずをひと工夫 腸内環境を整えよう

 林病院

〒915-8511 福井県越前市府中一丁目3番5号
電話. 0778-22-0336 FAX. 0778-23-4014
e-mail. info@hayashi-hospital.or.jp
URL. <http://hayashi-hospital.or.jp/>

理念

わたしたちはあなたとともに
納得し安心してうけられる
質の高い医療をめざします

基本方針

患者さんの権利と尊厳を大切にした医療を行います
地域の中核病院として急性期医療を行います
地域の医療機関と連携し切れめのない医療を行います
在宅復帰のための回復期医療や在宅支援サービスを行います
健康長寿をめざした予防医療を行います

7月1日より新病院での診療を開始しました。

移転に伴い新病院では、外来が1Fと2Fに分かれます。216床あった病床は206床になります。病棟は4病棟から5病棟に再編されます。これからも職員一同、地域の患者さんのために、地域の医療機関の皆様と連携して診療に当たってまいりたいと思っております。



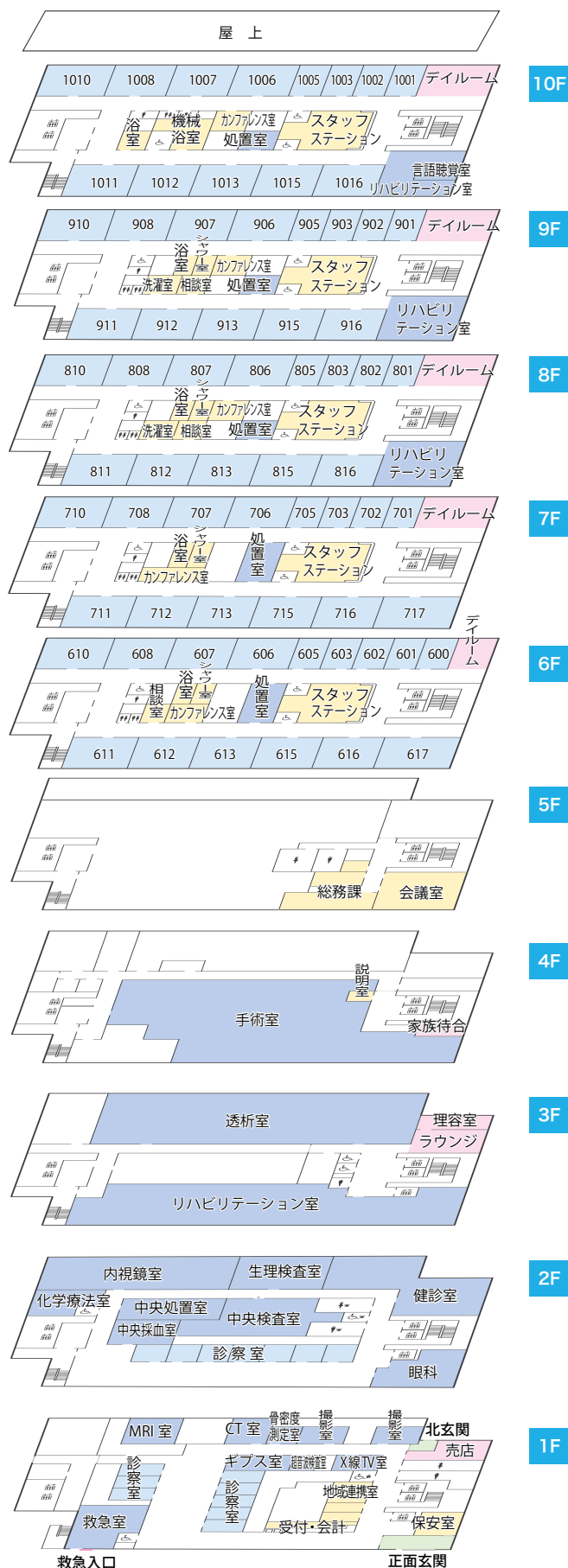
MRI 装置が新しくなりました

この度、Philips社製のMRI装置 Achieva 1.5T(Ingenia 1.5T CXにアップグレード) が新たに導入されました。主な特徴を紹介させていただきます。

- ① **高画質** MR信号のフルデジタル化で高画質を得ることが出来ます。
- ② **磁場の均一性向上** 広範囲で歪みを少なく、高精度な検査が可能になりました。
- ③ **検査時間の短縮** CS (Compressed Sensing)SENSE 法により従来よりも検査時間の短縮が可能になりました。
- ④ **優しい検査環境** 自動音声ガイドにより、テーブル移動時間や検査時間を検査中の患者様にお伝えします。
- ⑤ **新しいアプリケーション**
 - ASL(Arterial Spin Labeling)法により造影剤を用いることなく脳血流の評価が出来ます。
 - MR Neurography により神経を選択的に描出することが出来ます。



た！



新病院フロアマップ



10F	10 病棟
9F	9 病棟
8F	8 病棟
7F	7 病棟
6F	6 病棟
5F	総務課 会議室
4F	手術室
3F	リハビリテーション室 透析室 ラウンジ 理容室
2F	外来受付 ■内科 ■泌尿器科 ■眼科 ■中央採血室 ■中央処置室 ■化学療法室 ■内視鏡室 ■生理検査室 健診室
1F	受付・会計 外来受付 ■整形外科 ■脳神経外科 ■外科 ■形成外科 放射線科受付 ■MRI室/CT室 骨密度測定室 / 撮影室 X線TV室 / 超音波検査室 救急室 地域連携室 相談室 売店



肩車型社会は ニッポン1億総活躍プランで乗り切れるか



① 胴上げ型、騎馬戦型から肩車型へ

1人の65歳以上の方を何人の現役世代(20～64歳人口)で支えているのでしょうか。

◎1962年から1990年までは

高齢者1人を9.1人から5.1人で支える 胴上げ型

◎2010年になると、

高齢者1人を2.6人で支える 騎馬戦型

◎2040年には、

高齢者1人を1.2人で支える 肩車型

胴上げ型から騎馬戦型、肩車型へ。何やら運動会の競技種目めいていますが、そうではありません。1人の高齢者を支える現役世代の人数の変化を説明した表現です。年金や医療など日本の社会保障制度は、1990年には高齢者1人を5.1人で支える「胴上げ型」でした。しかし少子高齢化が予想以上に進み様相が変わり、現在は2.5人で1人を担ぐ「騎馬戦型」、2040年にはたった1.2人で1人の面倒を見る「肩車型」になると言われています。屈強な若者でも悲鳴を上げるに違いありません。

この社会構造の変化に伴う社会保障体制の変化は突然に降ってきたわけではありません。

② 国民皆保険達成から介護保険制度導入まで

1960年代に国民皆保険制度が達成されましたが、この時すでに、多産多死型から少産少子型への構造変化が予見され、若年労働者の不足、高齢人口の増大、中高年齢者問題の重大化が危惧されていました。総人口を維持するためには、合計特殊出生率(一人の女性が、15歳から49歳までに生む子供の数の平均)は2.07が必要とされているのですが、1966年(昭和41年)丙午の1.58が例外ではなく、一時1.26まで低下したのち、最近では1.4あたりで推移しています。桜田前五輪相の「お子さん、お孫さんには子供を最低3人くらい産むようお願い

してもらいたい」との発言は簡単に否定されるべきものではないように思います。

2000年には介護保険制度が導入されました。当初、要介護(要支援)認定者は218万人でしたが、2018年には644万人と約3倍に増加しました。

これら両保険の財源のおよそ半分は保険料、残りは税金が投入されているのですが、受益者に比して、支払う側のいわゆる社会負担が大きくなりすぎ、従来型の社会保障制度の維持が困難になってきたようです。

③ ニッポン1億総活躍プラン

2025年には、団塊の世代(昭和22年～24年生まれ)が全て75歳以上になり、従来型社会保障システムでは立ち行かなくなることが目に見えていることから、少子高齢化における社会保障制度の持続可能性を求めて社会保障と税の一体改革が行われようとしています。つまりすべての世代が、年齢区分による負担でなく、歳をとっても働ける人はさらに働き、負担能力に応じて負担し支えあう仕組みを導入することと、こどもを産み育てやすくすべく幼児教育・保育の無償化などの子育て支援やいわゆる少子化対策です。今まで2度にわたり先延ばされた経緯のある消費税増税を伴う社会保障制度改革案、欧州や北米でポピュリズムの嵐が吹き荒れている昨今、最終的に日本国民はどのような選択をするのでしょうか。医療人としても気になるところです。





外科
服部 泰章

4月1日から外科で働かせていただいております服部泰章です。

奈良で生まれて、子供の頃は大阪、学生時代は京都で過ごしました。大学卒業後は、小浜市の杉田玄白記念公立小浜病院に通算33年余り勤務しました。消化器や乳腺を中心に、地域の人々が治療を受けるためにわざわざ遠い所まで行かなければならない、というようなことはなるべく少なくしたいと思って、手術などの治療に取り組んできました。開腹手術で育った世代の外科医ですが、早くから腹腔鏡下手術を取り入れて身体にやさしい治療を心掛けています。

小浜では、手術の執刀は若い先生達に譲って指導役に回っていました。今回、林病院へお招きいただいているいろいろ迷いましたが、手術を頑張ってもらいたいと言われて

決断しました。

小浜市は福井県内とはいうものの関西の文化圏で、大阪や京都で育った私には馴染みやすい土地でした。越前市は文化も言葉も違うから戸惑うよ、と脅かされてきましたが、皆様に温かく迎えていただき感謝しています。

診療のほうは徐々にペースを上げていくつもりでおりましたら思いのほか忙しく、いきなりエンジン全開の状態です。これまで林病院の外科を支えてきた宮永医師らのスタッフとチームワークを大切に、飛ばしすぎにならぬように注意しながら進むつもりです。

どうぞよろしくお願いいたします。



看護部長
黒田 正子

4月1日より看護部長として就任いたしました黒田と申します。

3月までは福井大学医学部附属病院に在職しておりましたが、ご縁があり林病院で勤務させて頂くことになりました。林病院は「わたしたちはあなたとともに納得し安心してうけられる質の高い医療をめざします」を理念に、看護部も誠意と愛情のこもった看護の提供を実践できるよう取り組んでおります。

超高齢化が進むなか団塊世代が75歳以上となる2025年以降は、国民の医療や介護の需要がさらに増加することを見込まれています。このような状況の中、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援のために医療スタッフはもちろん、行政との連携などが重要となります。そのひとらしく生きるために支援することは看護師の使命であります。これからも看護師として、わたしたちの役割を進化させ、みなさまに寄り添い、みなさまの思いを大切にしながら地域に貢献していきたいと思っております。

7月1日に開院の運びとなり新しい環境になります。診療に関しましては規制があるなかで、ご迷惑をおかけすることをお詫び申し上げます。今後もより一層、職員一丸となりご期待に添えるよう努力して参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。



～腸内環境を整えよう～

私たちの腸には約1000種類、100兆個以上にもおよぶ腸内細菌が住み着いています。その様々な細菌が種類ごとに塊になって腸の壁に分布している様子がお花畑のように見えることから「腸内フローラ」と呼ばれています。この腸内細菌は「善玉菌」「悪玉菌」「日和見菌」の3つに分けられ、「善玉菌」2割、「悪玉菌」1割、「日和見菌」7割が理想的なバランスと言われています。このバランスは年齢によっても変化します。赤ちゃんの腸内は善玉菌が優位ですが、その後、年齢とともに悪玉菌が増えていきます。また、食生活やストレス、生活の乱れ、便秘なども悪玉菌を増やす要因になります。腸内フローラを良いバランスで維持するためには、栄養バランスのとれた食事、適度な運動が大切です。

●腸内の善玉菌を増やすには

善玉菌を増やす方法は大きく分けて二つあります。一つは、ビフィズス菌や乳酸菌を含む、ヨーグルトや乳酸菌飲料、納豆やキムチ、ぬか漬けなどの発酵食品を食べることです。もう一つは、オリゴ糖や食物繊維を摂ることです。オリゴ糖や食物繊維の成分は、消化・吸収されることなく大腸まで達し、善玉菌のエサになって菌の量を増やしてくれます。オリゴ糖は大豆や玉ねぎ、ごぼう、ねぎ、バナナなどに、食物繊維は野菜、豆類、果物、海藻、きのこ類などに多く含まれています。

いつもの
しゅうまいを工夫

おからしゅうまい

作り方

- 1) 玉ねぎ、しいたけはみじん切りにし、片栗粉をまぶす。
- 2) 豚ひき肉とおからパウダー、①を粘りがでるまで混ぜ合わせる。
- 3) ②にしょうゆ、みりん、ごま油、しょうがのしぼり汁、鶏がらスープを加え混ぜる。
- 4) しゅうまいの皮に③を包み、グリーンピースをのせ、蒸し器にクッキングペーパーを敷き、その上にしゅうまいを並べて7～8分蒸す。
- 5) 器に盛り出来上がり。お好みで、しょうゆ+練り辛子を付けて。



材料 2人分

豚ひき肉	150 g
玉ねぎ	50 g
おからパウダー	20 g
しいたけ	1枚
片栗粉	大さじ1
しゅうまいの皮	10枚
グリーンピース	適宜
しょうゆ	小さじ2
みりん	小さじ2
ごま油	小さじ1
しょうが(しぼり汁)	適宜
鶏がらスープ	小さじ1
しょうゆ	適宜
練り辛子	適宜

診療案内

診療受付時間

月曜～土曜
午前8:00～午前12:00

診療時間

月・水・金曜
午前9:00～午前12:00
火・木・土曜
午前9:00～午前12:00
午後2:00～午後5:00

休診日

日曜・祝日、月・水・金曜日午後
夏期休暇・年末年始

救急患者様は常時受け入れます

整形外科

大塚 和史
佐藤 充彦
武井 大輔
貝澤 幸俊
池田 周正
高岡 佑輔
土井 浩平
野尻 正憲
高橋 寛
新井 隆三

脳神経外科

佐久間 敬宏
菊田 健一郎
常俊 頭三
川尻 智士

外科

宮永 克也
千葉 幸夫
服部 泰章
山本 信一郎
多保 孝典
成瀬 貴之
木村 哲也
佐々木 正人
前田 浩幸
村上 真
林 秀樹

形成外科

山中 浩気

放射線科

村岡 紀昭
木下一之
辻川 哲也
高田 健次
清水幸生

内科

酒井 克哉
荒井 肇
森島 繁
福岡 良友
濱田 卓也
堀澤 欣史
青山大雪
向井 萌
松本 忠彦
松井 宏行
家村 知樹

呼吸器科

長内 和弘

内科(糖尿病)

西教 美千子

循環器科

酒井 克哉
森島 繁

内科

(リウマチ・血液)
岡崎 俊朗

内科(腎臓)

高橋 直生

内科(人工透析)

森島 繁
松田 哲久

神経内科

人見 健文
糸数 隆秀

臨床検査

荒井 肇

消化器科

宮永 克也
服部 泰章
荒井 肇
多保 孝典
大谷 昌弘
青木 創吾
土山 智邦

眼科

赤木 好男
青木 朋恵
竹内 裕子
山田 雄貴
柿本 宙志

泌尿器科

秋野 裕信

麻酔科

石本 雅幸
千葉 幸夫

健診・人間ドック

林 秀樹

回復期リハビリ

テーション病棟
大塚 和史

医師一覧